

SHIEN アカデミー Press

Vol.17 SHIEN学を学ぶ人同士の絆

INDEX

- ・ 代表理事からのメッセージ
SHIEN学アドバイザー、SHIEN学マスターになるということとは P1
- ・ SHIEN学アドバイザー 河本 亜紀(SHIEN学アドバイザー) P2～P3
- ・ 今後の予定<3つのコースとセミナー> P4
- ・ SHIENアカデミー会員活動報告 <ワークショップ(相談会)運営特集>
SHIENカフェ(Skypeでのワークショップ) 福塚みよこ(SHIEN学アドバイザー) P5～P6
100人を超えるワークショップに参加して 田中なつ子(SHIEN学アドバイザー) P7～P8
- ・ 編集後記

SHIEN学アドバイザー、SHIEN学マスターになるということとは

SHIENアカデミー代表理事 たておか やすを

SHIEN学を学ぶには、いくつかのコースがあります。伝説のワークショップといわれている天分発見ワークショップ、資格制度であるアドバイザー、マスターコース、企業や病院などの組織変容のコースにメンバーとして参加する、その他一般の講演やワークショップです。その中でも、中核をなすのが、天分発見ワークショップとSHIEN学資格コースです。この両者はどのように同じあるいは違うのでしょうか。

SHIEN学による天分発見ワークショップでは、SHIENの原理が大いに躍動しており、ワークショップの中で、どっぷりと温かさの創造を体験し、SHIEN原理を深く体感します。あるアドバイザーの方がおっしゃっていたのですが、「参加者全員が、まったく素の有りの儘でいて、受け入れられ、全員が調和している楽園」のような状況をプロセスパラダイム的に創造し、みなで体験します。この自らの気づき、体験によってSHIEN学を学んだということができます。

一方、資格コースはもちろんSHIEN学を深く学び、実践し、体感しますが、それは自らの体験に留まらず、他者に、他組織に、社会にその温かさの場、SHIEN学を起こしていくようになっていくのが特徴なのです。自らの体験に留まらず、その原理を他者に届ける処まで深めていくわけです。ですから、温かさを立ち上げるという意味で、他者や組織や社

会に対する「愛」のような思いや覚悟が必要になります。この今の社会システムを新しい時代にふさわしいものに変えていく、こころ・意識が動き始めるわけです。

では、アドバイザーとマスターはどのように異なるのでしょうか。アドバイザーは、温かな場を届けられること、マスターは、自らこ一ずばらだいむを体験し、こ一ずばらだいむの入り口まで他者を運んでいけるような方と言えるでしょう。いずれの資格も資格をとってからそのように磨かれていくことになっているようです。そして、もとに戻りますが、世界を変える人財は、天分でそれを行っていくようになりますから、両方のコースに出られるのが理想的と言えるのです。



Photographed by Yasuwo TATEOKA

SHIEN学アドバイザー



河本 亜紀 (SHIEN学アドバイザー)

SHIEN学とエネルギー筋肉整体

平成から令和へ移行した5月に、SHIEN学アドバイザーになりました、河本亜紀と申します。エネルギー筋肉整体師をしています。わたしは、過去に二度ほど死にかけました。それでも、どうしても生きたいと思いました。そんな私とSHIEN学との出会いをお話ししたいと思います。

『エネルギー筋肉整体とは』

身体に全てが内包されていることを基本にしています。筋肉をほぐしながら骨を元の位置に戻す施術で、ときに対話も交えながら、からだとこころが発するメッセージもお伝えします。身体だけでなく魂と今の感情とのズレを整えていく。それがエネルギー筋肉整体です。

『心と身体と魂は三位一体』

私たちは魂という意識体として生まれる前に大まかな人生の青写真を設計してきています。身体とい

う器へ入っていくのです。身体と心（感情）がバラバラになると自分の現在地が分からなくなり、現実が動かない感覚（心）、気力はあるのに何故か身体が重くてダルイなど、心と身体は硬直していきます。エネルギー筋肉整体で自分軸に戻るきっかけや気づきを得て、身体も心も整えていくのです。

その先に自分の人生の課題へと目を向ける事ができるのではないかでしょうか。魂の使命や生まれてきた理由は、それだけを追い求めて、物質世界での行動を疎かにしていては、混乱の元になってしまいます。

スピリチュアルとは、己の想い、言葉、そして行動にあらわしていく事だと私は考えます。身体が開くと、心も開いていく。わたしが生きてきた道です。さらりと読み流してくださいね。

▼次ページへつづく

▼前ページよりつづく

『SHIEN学を知ったきっかけ』

生命的の樹研究家の小西温子さんがきっかけでした。その後、彼女のいる北海道でSHIEN学マスターの伊藤めぐさんにお会いします。見えないものを見るように体現しているお二人でした。そして、その先に館岡先生との出会いがありました。

アカデミーの講座を受けたのは、2018年の7月に北海道で、10月、2019年2月でした。そして、その時期に前後して、2018年6月、10月、12月と長崎県島原での天分発見ワークショップに参加しました。

このように2018年の間に、私の中でアカデミーでのSHIEN学の学びと天分の柱が立っていきました。ただ、SHIENを知りたい、との想いで学んでいったのです。

『みえない力をみえる化していく』

SHIEN学は、館岡先生が提唱している学問です。[間の科学] [在り方] [意識]など沢山のキーワードが散りばめられています。身体は見えるけど、身体の中には血管があり、臓器があり、骨がある。でも生活している中で意識にはあがってきませんね。ミクロとマクロの世界。心臓があるのは分かるけど自分の目からは見ることができませんね。大体の場合、怪我や病などで意識する。身体だけを健やかにする、ではなく、自分の想いや感情、みえないものが、身体を動かしている大きな源です。当たり前にある身体は当たり前じゃないです。辛くても苦しく



ても、心臓や肺、手や足、この世を去るまでずっと動いている。生かされているんです。

本当の自分が立ち上がったとき、天分に運ばれていく。今までの私の在り方が、生きてきた想い、言葉、行動が、SHIEN学としての学問だったんです。その先に「従来、重なりのなかったところに重なり（相互浸透過程）を創って『してもらう・してあげる』ことを相互に交換すること」が活きてくることになる。。それが腑に落ちたんです。

自分を知ることは、相手を知ること。相手を知ることは、自分を知ること。これからも、SHIEN学と共に、エネルギー筋肉整体と共に、自分を体現していきたいです。

「SHIEN学を深く学ぶ3つのコース」とセミナーのご案内

SHIEN学をさまざまなスタイルで学び、活躍していただくために、これまでの「ファシリテーション（アドバイザー・マスター）コース」に加え、**SHIEN学「SHIEN学を深く学ぶ3つのコース」**として「プラクティショナーコース」「シンポジウムコース」を新設しました。各コースは次のような内容です。

コース名	内 容	コース構成	開催日
ファシリテーション コース	SHIEN学の講演、ワークショップを有償で実施したい人向け。 SHIEN学アドバイザー、SHIEN学マスターの資格取得ができます。	基礎編 応用編 実践編	年6回予定 (関東・北海道・長崎)
プラクティショナーコース	SHIEN学を自分の生活に取り入れて実践し、生活の質を上げたい人向け。有償講演等はできませんが、SHIEN学をより深めたい方に最適なコースです。	基礎編 応用編	年6回予定 (関東・北海道)
シンポジウム コース	二人以上のコース修了者で有償・無償のSHIEN学に関わるイベント開催が可能です。イベント実施にあたってのシナリオをアカデミーよりご提供します。	基礎編 応用編 実践編	年6回予定 (関東・北海道)

●2019年度の開催日程

最新情報はSHIEN AcademyのホームページよりSHIEN学講座日程もご参照ください。

<https://www.shien-academy.jp/shien学講座-日程/>

日 程	地 域	開催講座	会 場	申 込
8月24,25日 (土,日)	九州/熊本	天分発見ワークショップ 熊本 ②	阿蘇 文化創造館 風流 〒861-2405 熊本県阿蘇郡西原村宮山1642-1	受付中
8月31日、 9月1日 (土,日)	九州/福岡	天分発見ワークショップ 福岡 ③	カフェGALA de EAU (ガラドオウ) (福岡市清川2丁目9-2タイセイビル1階)	受付中
9月7日(土)	東 京	SHIEN学を深く学ぶ 3つのコース	S/S/A/W東京都品川 (東京都品川区荏原5-15-15)	受付中
9月8日(日)	東 京	笑って深めるSHIEN学 ワンディセミナー	JT東京研修センター 品川区大井1-28-1 住友不動産大井町駅前ビル	受付中
9月28,29日 (土,日)	北陸/福井	天分発見ワークショップ 福井 ②	越前市八ツ杉森林学習センター (福井県越前市別印町19-11)	受付中
10月19日(土)	九州/長崎	SHIEN学を深く学ぶ 3つのコース	Soul Blossom (長崎県島原市弁天町1-7055-1)	受付中
10月26,27日 (土,日)	北海道/札幌	天分発見ワークショップ 北海道 ①	札幌 Café tone (札幌市北区北23条西10丁目1-6)	受付中
11月16日(土)	北海道/札幌	SHIEN学を深く学ぶ 3つのコース	札幌 Café tone (札幌市北区北23条西10丁目1-6)	受付中
11月30日、 12月1日 (土,日)	北陸/福井	天分発見ワークショップ 福井 ③	越前市八ツ杉森林学習センター (福井県越前市別印町19-11)	受付中
12月*	北陸/福井	SHIEN学を深く学ぶ 3つのコース	(* 次号で詳細をご案内予定です)	

お問い合わせ、ご参加ご希望の方は、メールでお知らせください。

一般社団法人SHIENアカデミー静岡

お問い合わせ/お申込み shien.academy.1@gmail.com

<http://www.shien-academy.jp>

<http://www.facebook.com/shiengaku/>

SHIENアカデミー会員活動報告

SHIENカフェ Skype(音声/ビデオ通話)でのワークショップ



福塚みよこ (SHIEN学アドバイザー)

居る場所を選ばずに繋がることができるSkype(音声/ビデオ通話)を活用してSHIENカフェを最初にスタートし、長く継続されている福塚みよこさん。2015年10月のスタート以来毎月開催し、1日に昼夜2回開催されたこともあったそうです。4年目を迎えた2019年、これまでどんな想いで定期的な開催を続けてこられたのでしょうか。福塚みよこさんに振り返っていただきました。

Q1 SHIENカフェを主催し始めたキッカケは?

SHIENの温かさに触れた瞬間の感動を言葉にするなら「初対面の人とでもこんな関係を築けるなんて!理想の生き方に出会ってしまった…。」初めて参加したワークショップで心が救われた気がしました。この学問の正体をもっと知りたい!とすぐに学びの道に入ったSHIEN学。しかし、勢いで講座に参加したものに出された課題はSHIENの実践!それは私にとって大きな大きな壁でした。『自ら相談会をファシリテートする、しかし誰と?どうやって誘おう?』同じ思いの仲間同士いろんなカフェに集まってSHIEN相談会を始めたのがキッカケです。2015年の夏のことです。その後、会場を札幌のコミュニティーカフェCafe toneに移し、回数を重ねるうちに「SHIEN学の受講者以外の人にも体験してもらう場にしては?」とお声がけいただき一般の方にも対象を広げました。それが2015年10月、現在の「SHIENカフェ in Cafe tone」のスタートです。

翌年の3月からは更に多くの方にSHIENに触れて貰いたいとオンラインでの対応を開始、以降「Skypeでも参加できるSHIENカフェ in Cafe tone」として全国の方に参加を呼びかけています。

また、相談会では気づきを宣言するのですが「相談会だけでは気づきを意識・実践し続けるのは難しいかも知れない」という想いから、2017年6月より「SHIENカフェ☆シェアタイム」をスタート、自らの宣言の実践体験をシェアすることで更に気づきを深めあう大切な時間として隔月で開催しています。

▼前ページよりつづく

SHIENアカデミー会員活動報告



Q 2 SHIENカフェをやってみて実感していることは？

SHIENカフェを始めてからもうすぐ4年。スタート時の私の想いは「自分自身の実践の場を持ち続けたい」、どんなに深く学んでもそれだけじゃ役に立たない！SHIENな生き方をしていきたい、意識し続けることを意識したい…

それは今も変わることはありません。SHIENに初めて触れる人も、いつもの仲間も、みんなで気づき合うこの場で誰よりも育てられているのは私だなあ…とありがたい気持ちでいっぱいです。

SHIENカフェは現在も参加されるメンバーによってどんどん変化・成長し続けています。講座を受講中の皆さんにも、実践の場として参加していただけたら嬉しいです。

Q 3 最初のころと今で自分自身に何か変化はありましたか？

そうですね…最初は「SHIEN学を伝える人にならなくちゃ！ファシリテートしなきゃ！」という気負いが大きかったと思います。でも、大切なのはみんなでつくる温かな場、寄り添う心、言葉にしなくても安心できる空間。今は、その温度を感じてもらうために出来ることをいつも考えています。

そして、まだSHIENに出会っていない必要としている人はたくさんいるはず…だから入口はいつもここだよ～！と開けていたいと思っています。

Q 4 遠隔地でも繋がるSkype（音声/ビデオ通話）だからこそ感じることは？

遠方からでも参加できる便利さはあるものの、画面越しだから変な感じ…、使い方が不安…、妙に緊張してしまう…、Skype参加の方からよく聞く最初の感想です。相談会が始まってしまえばそんな不安も吹き飛んでしまう方がたくさん！安心してくださいね。

互いに重なること、心を寄せる事、想いを伝えること、SHIENすることに距離も画面越しも違いはないことを一緒に体験し続けてきましたから！

さいごに

気づけばSkypeでの相談会も今年7月で41回目、私にとってSHIENは「身につけて活かすもの」ではなく、SHIENな在り方となった「本当の自分を生かしていく」もの。SHIENカフェはそんな自分の表現のひとつだと思っています。寄り添うことの心地よさをたくさんの人と共有できる大切な場です。

Cafe toneという温かな空間、オーナーの伊藤めぐさん（SHIEN学マスター）と共にこれからも皆さんの参加を楽しみにお待ちしています。

SHIENアカデミー会員活動報告

100人を超えるワークショップにスタッフとして

田中なつ子 (SHIEN学アドバイザー)

7月10日、東京大崎にある大手電機メーカーS社で館岡先生の講演と共に100名を超える参加者とSHIENワークショップが開催されました。これには、SHIENアカデミーのマスター・アドバイザーも多数駆けつけました。札幌からいらっしゃった、SHIEN学アドバイザーで、「笑いヨガ」を広めていらっしゃる、田中なつ子さんがレポートしてくれました。



『世界を変えるSHIEN学 講演会&ワークショップ』

会場：ソニーシティ大崎 24F南端 BRIDGE TERMINAL

ビルの24階、窓も大きく抜群の眺望の会場「BRIDGE TERMINAL」、こんなステキな空間でのSHIEN学フォーラムに、スタッフとして参加できてとても良かったです♪

札幌のcafe toneや長崎ソウルブラッサムなど、アットホームな雰囲気の講演会やWSも体験してきましたが、今回は100人を超える規模での開催でした。S社の社員さんや一般参加のみなさんがいる場での講演会は男性が多かったこともあるのか、雰囲気こそ私がいつも体験している場とは違いましたが、参加された方々が、寄り添うこと、エンパシー（共感）、「してもらう・してあげる」など、SHIEN学の公理を感じ取り、笑顔になっていたので、まちがいなく！参加者さんたちのこころに残ったと思います。

終了後、館岡先生が参加者の方々何人かにインタビューをしてくださいり、応えていらした方々の表情も柔らかく、講演会が始まったときの力ち～んとした空気が短時間でとてもあたたかい空気に変わるSHIENって、「やっぱりすごいわ」と思いました。

「自分で考えていることより、数倍いいアドバイスをもらえて嬉しかった」という相談会の感想を話されていた方がいらっしゃいました。わずかな時間でしっかり「重なりと、してもらう・してあげる」を感じ、SHIENを持ち帰ってもらえた！と思っています。

▼次ページへつづく

▼前ページよりつづく

SHIENアカデミー会員活動報告

私は、人数の多い相談会は今回が初めての経験。ワクワクしながらスタッフとして参加してました♪「100人規模」に対する不安や心配もありませんでした。（笑いヨガ仲間で主催した笑いヨガ体験会の時、200人以上の参加者の中で笑いヨガをリードした経験が役立ったのかな?）

参加された皆さんがSHIEN学に興味をもって集まってくれているので、先生のお話も全力で聴いているようでしたし、相談会も熱気で熱くなりました（本当に室温あがったと思います、暑かった??・笑）。

今回の参加者さんの中にSHIEN学が人間らしいあり方へ導くものなんだと感じてくれる方が必ずいらっしゃると思います。

企業、教育、家族、場が違っていても、ひとりひとりにSHIEN的な流れが循環するようになれば、全てが動き出し変化していく気がします。

<今回の気づき>

私たち、アドバイザーも「場づくり」「間」のひとつ。「温かさを創造する」と同時に「優しさの調律師」でもあるんだと初めて気づきました。



～\$

編 集 後 記

私がSHIEN学を学び始めた時は会社員でした。当時は長く「こ一ずぱらだいむ」が起きました。好きな仕事をしていたにも関わらず、次はこうしてみよう、という純粋な挑戦心を忘れ、受け身になって多くの課題を処理していたからかもしれない、と最近振り返るようになりました。好きな仕事をしている、苦労も厭わない、と「思っているだけ」では、何かが不十分だったのでしょうか。仕事に手慣れてきたためだったのでしょうか。

先日、入社1年目の、社会人3ヶ月目の人たち十数名と話す機会がありました。十分な貢献が出来なくて先輩や上司を困らせているのではないか、という焦りを抱いている人が大半でした。しかし、主体性というテーマになった時、彼らは急にスイッチが入ったように目が輝き出しました。ここでなら、自分を活かせる、決してプロの意見ではなくとも、消費者目線で調査は出来る、、、など自分の内なる小さな力に目を向けた途端、生きた表情に変わり、もうその仕事にすぐに取り掛かっていました。

「こ一ずぱらだいむ」はこの目の輝きに集まるのではないか・・という不思議な感覚が降りてきました。その数日前の自分の経験が蘇りました。野菜を育ててみたいなと思ったときに、トマトの苗を持った友達が現れて土を耕すところから教えてくれたのです。「ここで何かやってみたいの、出来るかどうかはともかく。」そんな夢の話が気軽に出来る友人でした。瞳を輝かせ合える仲間が一人でもいることは宝物ですね。

櫻井 田絵子 (SHIEN学マスター)